

どうして借金をするの？

市債（借金）には「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の支出を平均にする役割」があります。

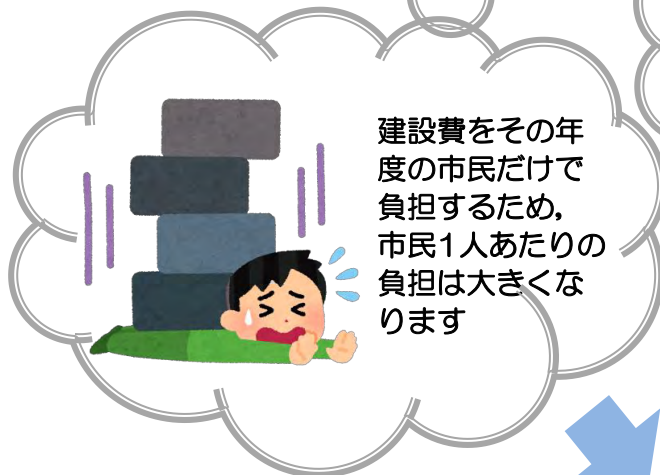
公共施設の建設には一時期に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄ってしまうと他の事業ができなくなってしまいます。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、長期間にわたって将来の市民も利用するものであるため、公平にその費用を負担してもらうという意味から、市債を活用しています。

借金をしないと…



例えば、小学校の建設にかかった費用を一度に払ってしまうと…



建設費をその年度の市民だけで負担するため、市民1人あたりの負担は大きくなります

学校や保育園の運営、道路の整備や管理などに必要なお金が足りなくなってしまいます



借金をすると…

将来の市民も公平に建設費を負担することになり、1人あたりの負担は小さくなります

